

えいよう

通信



4月、診療報酬改定と2年後の同時改定に向けて

今年4月、診療報酬が改訂されます。また2年後の令和6年には医療と介護の同時改定が行われます。

『食べる事』を担う私達栄養科はどの様に参画して行くべきかを考えてみました。

まずは、質の高い給食管理に基づく安全で衛生的な美味しい食事の提供。これは欠かすことが出来ない重要項目。病院の給食運営が充実していなければ、適切な栄養管理は行えないと考えます。給食部門の円滑な運営は、患者個人の栄養管理を推進するための重要な要素の1つなのです。

そして、早期栄養介入と退院後の支援。病院から施設や在宅まで繋がりのある栄養ケアの実現が必要なのではと思います。特に在宅では、栄養ケアステーションへの評価の背景からも国が目指す医療・介護・福祉を配慮した支援を行う事が望まれています。しかしながら地域ケア会議に出席する限り、まだまだ在宅での栄養介入は不足しているという現実を目の当たりにします。日本栄養士会（日栄）や各都道府県栄養士会からの後押しや更なる診療報酬での評価が必要不可欠ではないかと感じるこの頃です。病気を患っている方々を救う我々が、心身共に潤っていなければ、質の良い医療や介護の提供は出来ません。システムや設置の推進強化をお願いしたいです。最後に、栄養管理の専門職としてスキルアップに努めることも必要であると思います。

例えば専門管理栄養士の資格取得。日栄では、スポーツ、特定保健指導、食物アレルギー、静脈経腸栄養、在宅訪問など特定分野における認定制度があります。また専門分野としてがん病態栄養、腎臓、糖尿、摂食嚥下、在宅などの専門管理栄養士をスペシャリストとして認定しています。

携わっている分野や得意分野、目指す方向を見据えて仲間たちと共にスキルアップしたいと思います。



只今えいよう通信を編集中の3月8日は何の日かご存知ですか？

今日は、国際女性デーです。または『ミモザの日』。どちらにしても、男性の皆様、女性に感謝を込めてお花を贈る日なのですよ！海外、特にデンマーク？イタリア？どちらかの国ではその様な習慣があるそうです。

左の写真は栄養科の花瓶に生けたミモザです。これをご覧になって何か気が付かれませんか？ 少しブルーが濃いのですが、イエローとブルーはウクライナの国旗の色なんです。

私は、パッチワークキルトが趣味なのですが、今、世界中のキルター達はこのイエロー&ブルーでキルトを制作しています。ウクライナへの応援メッセージを

込めて。一昨年オーストラリアで大規模な森林火災があった時も日本のキルターはじめ各国のキルターで森林をイメージしたキルト、木のキルトを作って早期復興を願いました。

キルトは製作に時間がかかるので、当栄養科ではこのミモザと花瓶にてウクライナの人々が1日でも早く穏やかな暮らしが安心しておくれる事を願います。



3月は卒業シーズンですが、コロナの影響で卒業式や謝恩会も縮小…(≥▽≤) その様式を変えて行われているようです。暮らしも様式も変化していますが気持ちは前向きに、自分の信念のようなものはしっかりと持っていたいですね。

小林

